

連載 - 第2回 - Recommended by the president

経営者のおすすめをご紹介します

社長のRecommend

Pick Up! 今月はおすすめの一冊をご紹介します

●今月のご紹介者

奥野製薬工業 株式会社 代表取締役社長 奥野 和義 氏



『稲盛和夫と永守重信』

著/名和高司

出版社/日本経済新聞出版



【概要】

本書は、小企業を世界に冠たる大企業に育てたカリスマ経営者である稲盛和夫、永守重信を比較し、両者の強み、共通点、限界を明らかにするかつてない比較経営者論です。二人とも、グローバルに活躍していること、B2B企業として世界トップシェア事業を数多くもっていること、未来創造に向けて自社にとどまらず幅広く種まきをしてきたことなど、数々の共通点があります。二人とも、独自の経営哲学と経営手法を確立している点でも共通しています。稲盛の場合は「フィロソフィ」と「アマーバ経営」。永守の場合は「3大精神」と「3大経営手法」。ただ、それらの中身をよく知れば知るほど、両者の経営モデルの本質がびたりと重なり合うことに驚かされます。

Q1：この本を手にとられたきっかけについて

昨年暮れ、立ち寄った書店で、最近話題の「企業変革の教科書」の著者である名和先生の本誌が目に入りました。その本のタイトルにある両者は現在では関西のみならず日本を代表するカリスマ経営者です。両名の経営スタイルや企業の在るべき姿など大きく異なるイメージを持っていました。ところが表紙の飾り帯に、両名は経営モデルの本質がピタリと重なると書かれており、どのような分析をされたのか興味がわき衝動的に本誌を手に取りました。

Q2：この本をおすすめしたい理由について

稲盛和夫は京セラと KDDI の創業者でかつ JAL を再生した伝説の経営者です。全社の意識改革「フィロソフィー」とひとり一人の参加と数字に基づく経営手法「アマーバ経営」を最優先させました。永守重信は日本電産を起業し「買収王」の異名をとるほど M&A を繰り返すその神髄には失敗しない経営哲学を買収企業でいかに発揮されました。約 30 年前、永守さんの著書である「情熱、熱意、執念」、「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」などビ

ジネス書を読み漁った時代もありました。なにしろ、一年 365 日休みなく常に会社を発展させようとする永守さんでしたので、ある意味羨望の眼差しで弊社に取り入れるところはないものかと日々考えておりました。こうした両名の異なる経営手法も、本書で紹介しつつ、根本は短期と長期の両眼目標を持たせ、従業員一人一人にいかにかやる気を起こさせ目標を実現させるかが信条と説いています。また、両名は晩年私財を投げうって会社経営の担い手を育てる経営塾や先端科学大学を設立、人材の育成に力を注ぎ、持続的社会的貢献を最終目的とされています。

Q3：どういった方におすすめしたいですか

人を動かす経営理論が分かりやすく解説されています。会社経営者や継承しようとする若手経営者、経営幹部候補生に是非お勧めしたい一冊です。

奥野製薬工業 株式会社

OKUNO
OKUNO CHEMICAL INDUSTRIES CO., LTD.

本社：大阪市中央区道修町 4 丁目 7-10
資本金：7,000 万円
従業員数：441 名
事業内容：電子部品用各種処理薬品等の製造